



株式会社クレオ

# 第49期 Business Report

2021年4月1日～2022年3月31日

みなさまと共創していく、これからの未来

**We want to create the future with you.**

株式会社クレオ

証券コード：9698



代表取締役社長  
柿崎 淳一

## 働き方の変革が加速する中で、 事業を通じて豊かな未来社会の実現を目指してまいります

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第49期(2021年4月1日より2022年3月31日まで)の活動を終え、Business Reportをお届けするにあたりまして、ごあいさつ申し上げます。

コロナ禍で新たな働き方が問われるなど、現在、ICT業界にとっても様々な機会や課題が顕在化しています。旺盛な需要が存在する中で、当社は組織の足場固めをしっかりと進め、新常態における新たなビジネスモデルの構築やサービス提供を図り、社会のニーズに応えてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### Q 2022年3月期の事業環境と業績についてお聞かせください。

A ワクチン接種の強化などにより、世界経済、国内経済にコロナ禍からの回復の兆しが見られるものの、変異型ウイルスの感染拡大や、ロシアによるウクライナ侵攻といった地政学リスクの高まりなど、依然先行きの不透明感が強い状況が続いています。当社グループが属するICTサービス市場においては、変わる働き方の中で、引き続き需要が堅調な状態にあるものと認識しています。

2022年3月期の当社グループの業績については、売上高

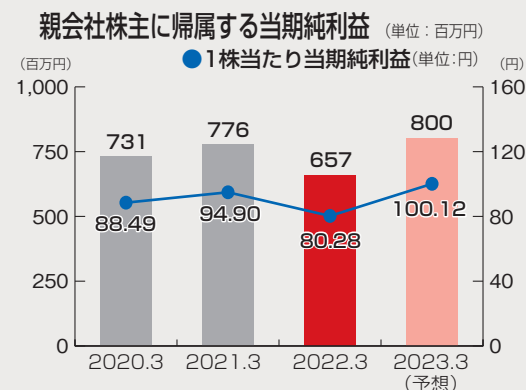
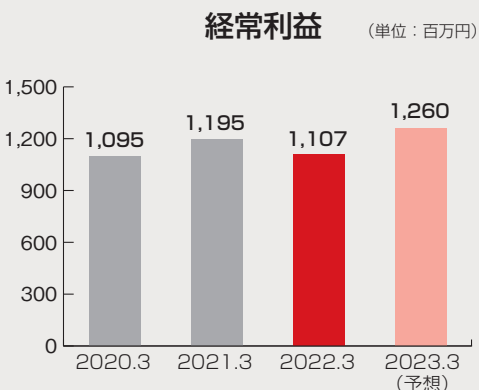
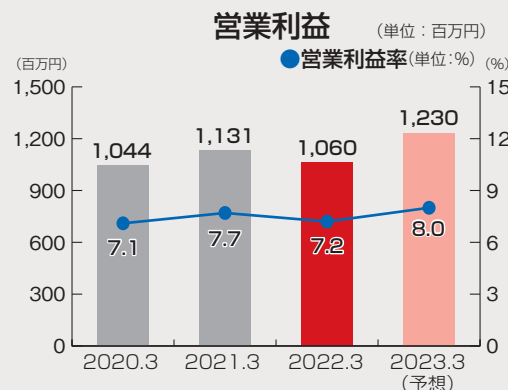
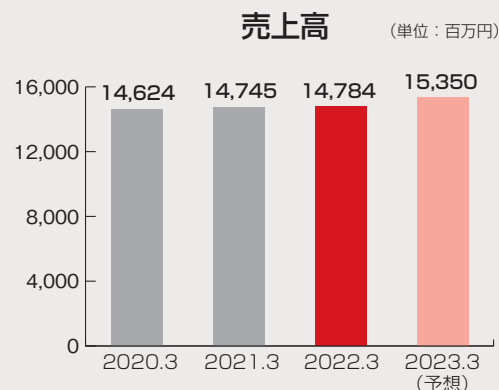
は前期比38百万円増加の147億84百万円、営業利益は前期比70百万円減少の10億60百万円、経常利益は営業利益の減少に伴い前期比88百万円減少の11億7百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比1億19百万円の減少の6億57百万円となりました。

当社グループ全体の成長を牽引する事業と位置づけたソリューションサービス事業において、第3四半期に不採算プロジェクトが発生したこと、それに伴う機会損失によって同事業は減収減益となりました。一方で、受託開発、システム運用・サービス、サポートサービスの各事業はともに増益となって

います。特にシステム運用・サービス事業は期首から好調で、主要顧客向け案件の堅調な推移に加え、新規顧客の獲得などによって売上、利益ともに伸長しました。

### Q 今後の事業環境と課題についてお聞かせください。

A 加速した働き方の変革に伴うデジタル技術の活用や、情報を企業価値創出の源とした企業活動変革のための投資が今後も続くと予想しています。企業の経営資源を管理する分野では引き続きICTの活用による経営管理の促



※第49期の期初より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しています。



進、クラウド技術への対応拡大など、今後のデジタル時代に必要な経営基盤へのさらなる投資は拡大傾向にあり、とりわけ、人事給与ソリューションを中心とするソリューションサービスは、引き続き旺盛な需要が続くものと考えられます。一方で、大手企業のシステム開発内製化推進による新規受注の鈍化や、ICT市場における人材不足も想定されます。

こうした中で、当社グループでは、ソリューションサービス事業における不採算プロジェクトの再発防止に向けた品質管理体制の強化とともに、事業プロセスの質の向上に力を入れ、次の成長に向け、今一度、組織の足場固めを行うことが必要であると考えています。

## Q 2023年3月期の業績予想と、特に注力する施策について教えてください。

A 2023年3月期の業績予想については、売上高153億50百万円(前期比3.8%増)、営業利益12億30百万円(前期比16.0%増)、経常利益12億60百万円(前期比13.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益8億円(前期比21.7%増)を予想しています。2023年3月期は現在進行している中期経営計画の最終年度にあたるため、業績計画の修正となりました。

この修正については、コロナ禍やウクライナ状況も含めて、

継続する社会情勢の不透明さや、ICT市場における人材の獲得競争の激化といった環境の変化、不採算プロジェクトの対応による機会損失の発生等に加え、事業拡大を一層加速させるための本格的な足場固めを行うために、人材、製品、サービスへの積極的な投資を実施することを考慮した修正となります。

今後の対策、展望として特に、生産性と収益力を上げるために、当社製品の人事給与・会計ソリューション「ZeeM(ジーム)」を中心とした導入プロセスの標準化、自動化による収益力の向上に引き続き取り組むとともに、クラウドシフトへの加速として、繋がるクラウドサービスの強化に注力してまいります。また、勤怠管理システム(TimePro)との連携強化を進め、顧客層の拡大を図るとともに、企業のシステム開発内製化に対応してまいります。さらに、当社最大の経営資源である人材の育成(人材教育の高度化、デジタル人材育成など)と、オフショア(ベトナム)の積極活用による人材確保・生産力の向上によって、業容の拡大に努めてまいります。

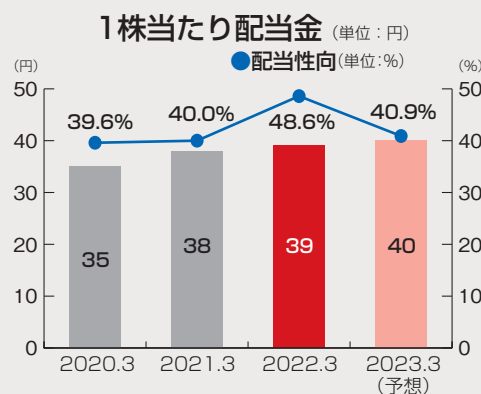
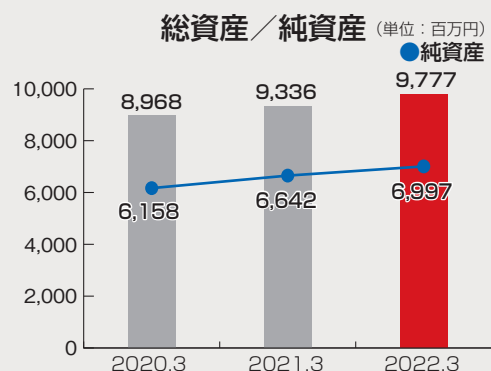
## Q 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A クレオは、豊かな未来社会の実現を企業理念に掲げ、持続的な成長を目指しています。そのために人と

情報を繋ぎ、新しい感動を創出してまいります。デジタル人材の育成を強化し、また、社員が継続的に能力を発揮できる環境づくりを実行して、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献してまいります。

今回の中期経営計画の業績計画修正につきましては、大変遺憾ではございましたが、今後より大きな成長を実現するための投資フェーズと考え、次なる飛躍に向けての体制強化をしっかりと進めてまいります。

当社は、持続的な成長により安定的な株主還元を今後も続けていく予定です。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

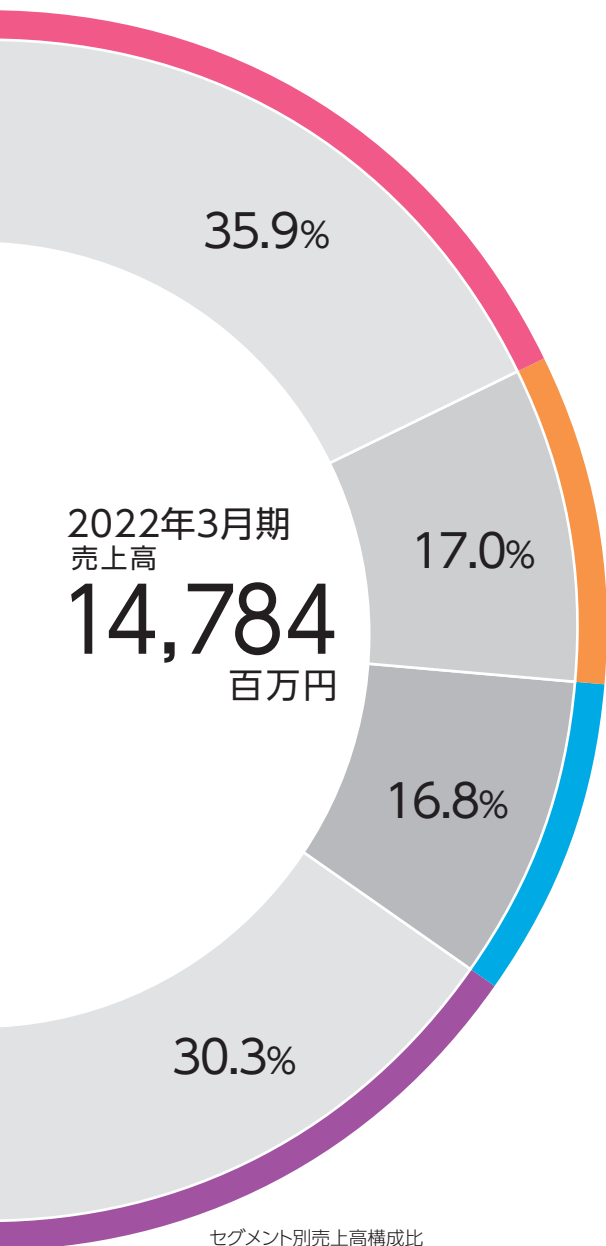


## 利益配分に関する基本方針と当期・次期の配当について

当社は株主の皆様への剰余金処分を経営の重要な政策の一つとして考えており、配当に関しては長期的な視点に立ち、連結経営成績に応じた安定的な利益の配分を基本方針としております。また、株主の皆様への長期的な利益還元をさらに充実させるため、連結配当性向40%を目標としております。

これらの方針に基づき、2022年3月期の配当金につきましては、1株当たり39円(前期比1円増配)といたしました。配当性向については48.6%となりました。

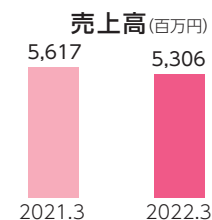
また、2023年3月期の配当金につきましては、1株当たり40円、配当性向40.9%を予想しております。



## ソリューションサービス事業

売上高 **5,306** 百万円 営業利益 **780** 百万円

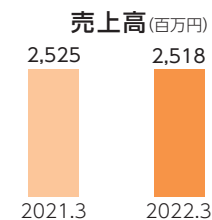
受注は旺盛な状況が続いていますが、第3四半期に不採算プロジェクトが発生したことなどにより、売上高は前期比で3億10百万円減少、営業利益は前期比で3億47百万円減少しました。



## 受託開発事業

売上高 **2,518** 百万円 営業利益 **467** 百万円

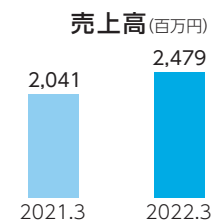
要員を収益性の高い案件へ移行させた影響などにより、売上高は前期比で6百万円減少、営業利益は前期比で40百万円増加しました。



## システム運用・サービス事業

売上高 **2,479** 百万円 営業利益 **325** 百万円

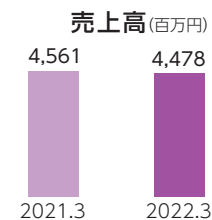
主要顧客向け案件の堅調な推移に加え、新規顧客の獲得などにより、売上高は前期比で4億37百万円増加、営業利益は前期比で1億9百万円増加しました。



## サポートサービス事業

売上高 **4,478** 百万円 営業利益 **351** 百万円

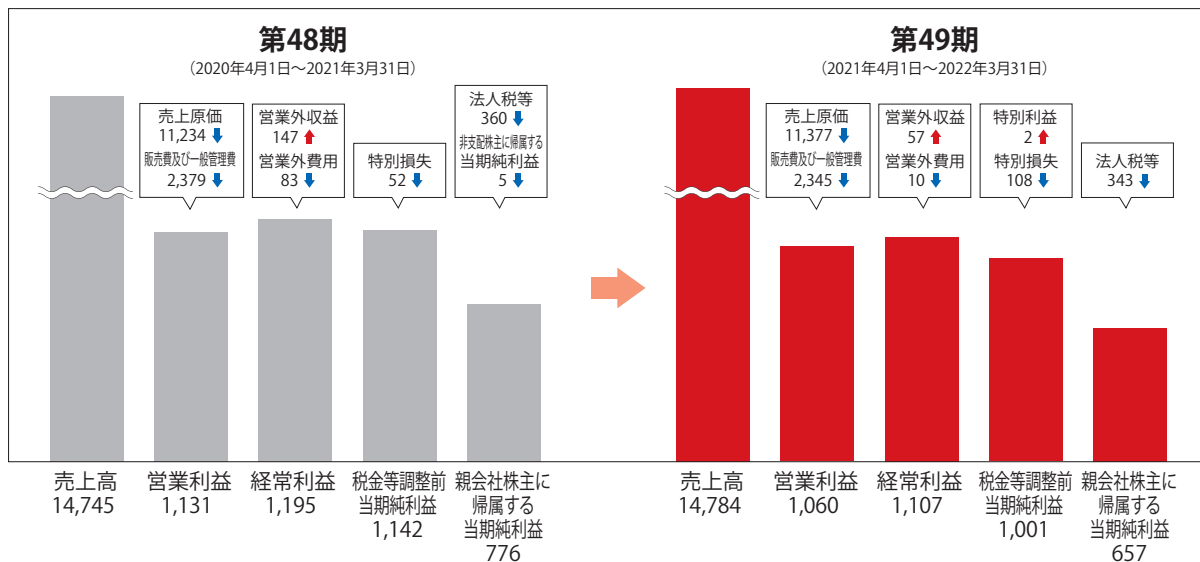
調査系サービスの受注減の影響により、売上高は前期比で82百万円減少、コスト削減など費用見直しを行い、営業利益は前期比で30百万円増加しました。



# 財務データ

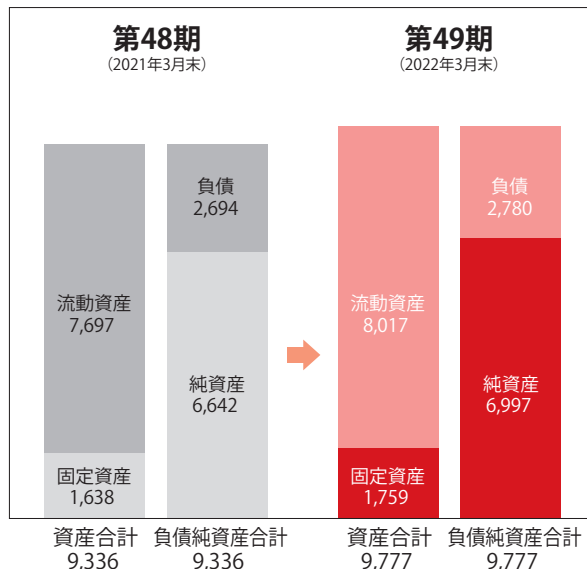
## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



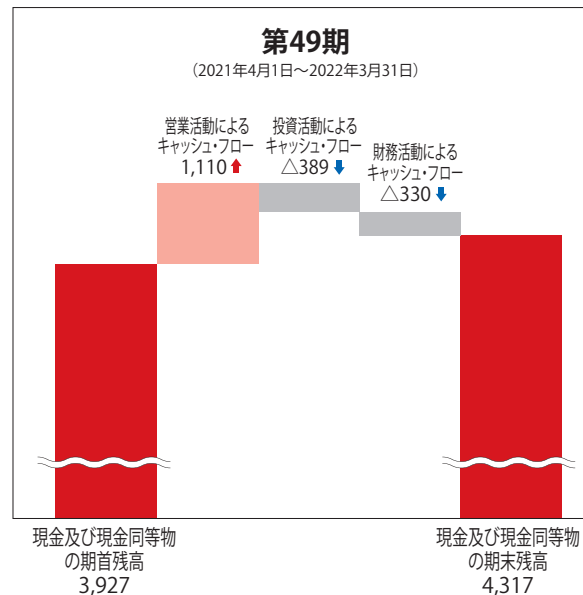
## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



|                              | 第48期   | 第49期   |
|------------------------------|--------|--------|
| <b>経営成績</b><br>(単位:百万円)      |        |        |
| 売上高                          | 14,745 | 14,784 |
| 売上総利益                        | 3,511  | 3,406  |
| 営業利益                         | 1,131  | 1,060  |
| 経常利益                         | 1,195  | 1,107  |
| 税金等調整前当期純利益                  | 1,142  | 1,001  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益              | 776    | 657    |
| <b>財政状態</b><br>(単位:百万円)      |        |        |
| 資産合計                         | 9,336  | 9,777  |
| 流動資産                         | 7,697  | 8,017  |
| 固定資産                         | 1,638  | 1,759  |
| 負債合計                         | 2,694  | 2,780  |
| 流動負債                         | 2,541  | 2,575  |
| 固定負債                         | 153    | 204    |
| 純資産合計                        | 6,642  | 6,997  |
| <b>キャッシュ・フロー</b><br>(単位:百万円) |        |        |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー             | 494    | 1,110  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー             | △399   | △389   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー             | △296   | △330   |
| 現金及び現金同等物の期末残高               | 3,927  | 4,317  |
| <b>1株当たり情報</b><br>(単位:円)     |        |        |
| 1株当たり当期純利益                   | 94.90  | 80.28  |
| 1株当たり純資産                     | 811.44 | 854.65 |
| 1株当たり配当金                     | 38.00  | 39.00  |
| <b>財務指標</b>                  |        |        |
| 自己資本当期純利益率 (ROE)             | 12.2%  | 9.6%   |
| 総資産経常利益率 (ROA)               | 13.1%  | 11.6%  |
| 自己資本比率                       | 71.1%  | 71.6%  |

## TOPICS

## 1

## 東証市場再編により「スタンダード市場」へ移行

2022年4月4日より新市場区分「スタンダード市場」へ上場市場を移行いたしました。当社は「人間の想像力」と「世界中のテクノロジー」を結合することで、「感動!」を生む変革を起こし、豊かな未来社会の実現を目指すことを企業理念としております。今後も持続的な成長により企業価値を向上させると共に、より豊かな未来社会の実現へ向け邁進してまいります。引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## TOPICS

## 2

## 経済産業省「健康経営優良法人 2022」に認定

2022年3月、3年連続で経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定されました。健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人の中で特に優良な健康経営を実践している法人を健康経営のリーディングカンパニーとして評価・認定する制度です。今後も継続的な健康の保持・増進に取り組み、社員やその家族、お客様の幸せを最大化し、豊かな未来社会の実現に貢献してまいります。



## TOPICS

## 3

## インディビジュアルシステムズ社(ベトナム)と資本業務提携を実施

2022年5月10日にベトナムの日系ソフトウェア開発会社インディビジュアルシステムズ社(本社:ベトナム ホーチミン市 代表取締役 浅井 崇氏)と、ベトナム現地当局の許認可等の取得を前提として出資する基本合意書を締結いたしました。日本国内におけるDX・既存ビジネスのデジタル化へのIT投資需要が拡大していく中、ITシステム、サービスの開発を担う技術者不足が大きな課題となっております。今後、加速するデジタル社会に向けたお客様のビジネス変革、持続的成長を支援するためにグローバル人材の採用・育成、国内供給のフローを広くアジアで構築することでお客様への安定的なサービス提供を目指していきます。



## 会社概要／株式の状況

### ◆会社概要

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 商 号     | 株式会社クレオ               |
| 所 在 地   | 東京都品川区東品川四丁目10番27号    |
| 役 員     | (2022年6月23日現在)        |
| 代表取締役社長 | 柿崎 淳一                 |
| 取締役副社長  | 二宮 桐人                 |
| 取締役     | 宮島 利光                 |
| 社外取締役   | 井原 邦弘                 |
| 社外取締役   | 春木 謙一                 |
| 社外取締役   | 鈴木 良之                 |
| 常勤監査役   | 雨田 高志                 |
| 社外監査役   | 宮澤 求 (公認会計士)          |
| 社外監査役   | 渡辺 伸行 (弁護士)           |
| 設 立     | 1974年3月22日            |
| 資 本 金   | 3,149,650千円           |
| 連結売上高   | 14,784百万円 ※2022年3月期実績 |
| 従 業 員 数 | 連結 1,204人<br>単体 505人  |

### ◆株式の状況 (2022年3月31日現在)

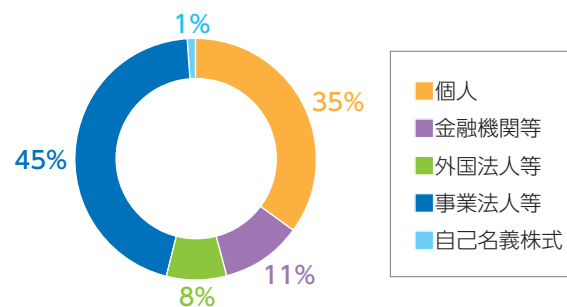
発行済株式総数 8,585,688株  
株主数 4,683名

#### 大株主 (2022年3月31日現在)

| 株主名                                                | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----------------------------------------------------|---------|---------|
| アマノ株式会社                                            | 2,645   | 30.8    |
| Zホールディングス株式会社                                      | 1,100   | 12.8    |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)                                | 398     | 4.6     |
| NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB) | 319     | 3.7     |
| クレオ従業員持株会                                          | 184     | 2.2     |
| MSIP CLIENT SECURITIES                             | 182     | 2.1     |
| 和田 正次                                              | 161     | 1.9     |
| 椎名 敬一                                              | 133     | 1.5     |
| 株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口)                             | 100     | 1.2     |
| 明治安田生命保険相互会社                                       | 100     | 1.2     |

(注) 1. 当社は株式給付信託を導入しており、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が398千株を所有しておりますが、自己株式には含めておりません。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算(小数点第二位を四捨五入)しております。

#### 所有者別株主分布状況



### ◆WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、詳細なIR情報や財務情報など、株主・投資家様向けの情報の掲載はもちろんのこと、メールによる「IRメール配信サービス」も行っております。是非一度ご覧ください。



<https://www.creo.co.jp/ir/>

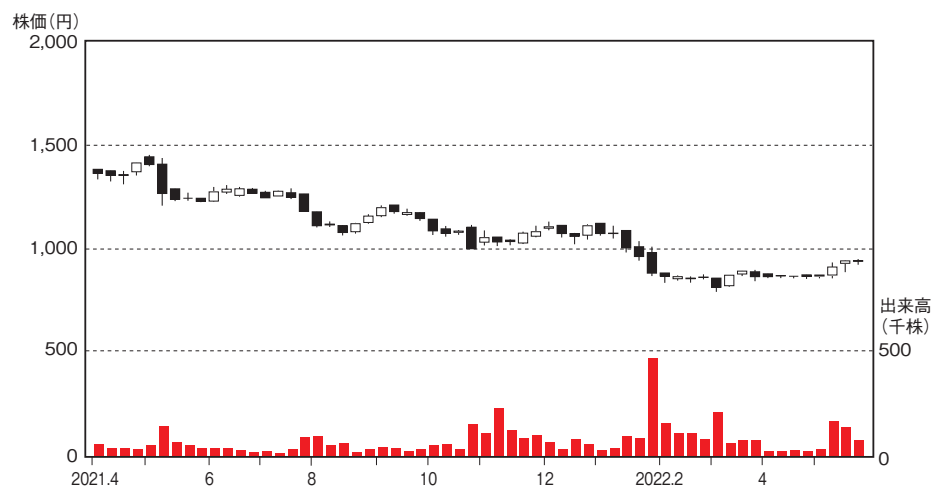




## 株主メモ

|                        |                                                                                                                                                      |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                   | 4月1日～翌年3月31日                                                                                                                                         |
| 期末配当金受領<br>株主確定日       | 3月31日                                                                                                                                                |
| 中間配当金受領<br>株主確定日       | 9月30日                                                                                                                                                |
| 定時株主総会                 | 毎年6月                                                                                                                                                 |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                        |
| 同連絡先                   | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>TEL 0120-232-711 (通話料無料)<br>郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                |
| 上場証券取引所                | 東京証券取引所 スタンダード市場                                                                                                                                     |
| 公告の方法                  | 電子公告の方法により行う。<br>公告掲載URL <a href="https://www.creo.co.jp">https://www.creo.co.jp</a><br>(ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない<br>事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。) |

## 株価と出来高の推移



## 理念・行動規範

### 企業理念

私たちは、「人間の想像力」と「世界中のテクノロジー」を結合することで、「感動！」を生む変革を起こし、豊かな未来社会の実現を目指します。

### 行動指針

#### ～幸せな企業人であり続けるための7つの行動～

1. 感謝の気持ちを忘れない
2. 信頼すること、されることを重んじる
3. いつも誠実に行動する
4. 心も技術も磨き続ける
5. より健康であり続ける
6. 恐れずに何ごとにも挑戦する
7. 仕事にも社会にも人生にも成果を出す



このロゴには、3つの「想い」が込められています。

#### 1つは「感動」を生むこと

クレオは「感動」を提供する企業です。常に周囲の期待を超え、驚きを提供していく姿をロゴに託しました。ロゴはエクスクラメーションマーク(感嘆符)をかたどりました。球形はクレオ自身を表します。共に語り、共に考え、共に成長するという共創の精神を象徴しています。

#### 1つは「創造」し続けること

クレオの歴史は創造の歴史です。ロゴは、知識や技術、関係の新たな結びつき(新・結合=イノベーション)を発見、創造し続ける決意を象徴しています。クレオ自身を示すこの球体から、次代を担う人財、製品、サービスが次々と生まれ、大きく育っていく姿を表しています。100年企業を目指し、時代時代にあわせ、変化し続ける姿です。

#### 1つは「永遠(とわ)」に寄り添うこと

クレオはいつもステークホルダーの皆様に関わり続ける企業でありたいという願いを込めました。ロゴは、クレオ自身である球体が、お客様や社会、株主の皆様に関わり添っているというイメージを表現しています。社会に貢献できる価値を提供し続ける企業であるという私たちの願いを象徴しました。